

高等学校 令和5年度（1学年用） 教科 地理歴史 科目 地理総合

教科：地理歴史 科目：地理総合 単位数：2 単位

対象学年組：第1学年 1組～6組

使用教科書：（高等学校 新地理総合）

教科 地理歴史 の目標：

【知識及び技能】 現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 地理や歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 地理や歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土や歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

科目 地理総合 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
地理に関わる諸事象に関して、世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球的課題への取組などを理解しているとともに、地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめているようにする。	地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、地域などに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したり、効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	地理に関わる諸事象について、国家及び社会の形成者として、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
<p>A 単元 地図と地理情報システム</p> <p>【知識及び技能】 日常生活の中でみられる地図などを基に、地図や地理情報システムの役割や有用性などについて理解し、まとめる基礎的・基本的な技能を身に付ける。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 地図や地理情報システムについて、位置や範囲、縮尺などに着目して、目的や用途、内容、適切な活用の仕方などを多面的・多角的に考察し、表現する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 地図や地理情報システムについて、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。</p>	<p>・指導事項</p> <p>GIS教育</p> <p>・教材</p> <p>教科書、地図帳</p> <p>・一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知識・技能】</p> <p>日常生活の中でみられる地図などを基に、地図や地理情報システムの役割や有用性などについて理解し、まとめる基礎的・基本的な技能を身に付けている。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>地図や地理情報システムについて、位置や範囲などに着目して、目的や内容、適切な活用の仕方などを多面的・多角的に考察し、表現する。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>地図や地理情報システムについて、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。</p>	○	○	○	4
<p>B 単元 結び付きを深める現代世界</p> <p>【知識及び技能】 現代世界の地域構成を示したさまざまな地図の読図などを基に、方位や時差、日本の位置と領域、国内や国家間の結び付きなどについて理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 現代世界の地域構成について、位置や範囲などに着目して、主題を設定し、世界的視野から見た日本の位置、国内や国家間の結び付きなどを多面的・多角的に考察し、表現する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 現代世界の地域構成について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。</p>	<p>・指導事項</p> <p>GIS教育</p> <p>・教材</p> <p>教科書、地図帳</p> <p>・一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知識・技能】</p> <p>現代世界の地域構成を示したさまざまな地図の読図などを基に、方位や時差、日本の位置と領域、国内や国家間の結び付きなどについて理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>現代世界の地域構成について、位置や範囲などに着目して、主題を設定し、世界的視野から見た日本の位置、国内や国家間の結び付きなどを多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>現代世界の地域構成について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。</p>	○	○	○	4
定期考査			○	○		1
<p>C 単元 「世界の地形」「気候」と人々の生活</p> <p>【知識及び技能】 世界の人の生活文化が地形や気候から影響を受けてきたりして多様性をもつことや、地理的環境の変化によって変容することなどについて理解する。</p> <p>【思考・判断・表現力等】 世界の人の生活文化について、場所の特徴や地形や気候などの社会的条件との関わりなどに着目して、主題を設定し、多様性や変容の要因などを多面的・多角的に考察し、表現する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 生活文化の多様性と国際理解について、地形や気候などを基によりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。</p>	<p>・指導事項</p> <p>GIS教育</p> <p>・教材</p> <p>教科書、地図帳</p> <p>・一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知識・技能】</p> <p>世界の人の生活文化を基に、人々の生活文化が地形や気候から影響を受けたりして多様性をもつことや、地理的環境の変化によって変容することなどについて理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>世界の人の生活文化について、場所の特徴や地形や気候などの社会的条件との関わりなどに着目して、主題を設定し、多様性や変容の要因などを多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>生活文化の多様性と国際理解について、地形や気候などを基によりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。</p>	○	○	○	10
<p>D 単元 世界の「言語」「宗教」と人々の生活</p> <p>【知識及び技能】 世界の人の生活文化が言語や宗教から影響を受けてきたりして多様性をもつことや、地理的環境の変化によって変容することなどについて理解する。</p> <p>【思考・判断・表現力等】 世界の人の生活文化について、場所の特徴や言語、宗教などの社会的条件との関わりなどに着目して、主題を設定し、多様性や変容の要因などを多面的・多角的に考察し、表現する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 生活文化の多様性と国際理解について、言語、宗教などを基によりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。</p>	<p>・指導事項</p> <p>多文化教育</p> <p>・教材</p> <p>教科書、地図帳</p> <p>・一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知識・技能】</p> <p>世界の人の生活文化を基に、人々の生活文化が言語や宗教から影響を受けたりして多様性をもつことや、地理的環境の変化によって変容することなどについて理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>世界の人の生活文化について、場所の特徴や言語、宗教などの社会的条件との関わりなどに着目して、主題を設定し、多様性や変容の要因などを多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>生活文化の多様性と国際理解について、言語、宗教などを基によりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。</p>	○	○	○	6
定期考査			○	○		1

2 学 期	<p>Ⓔ 単元 「歴史的背景」「産業」と人々の生活</p> <p>【知識及び技能】 世界の人々の特色ある生活文化を基に、人々の生活文化が歴史的背景や産業から影響を受けたりして多様性をもつことや、地理的環境の変化によって変容することなどについて理解する。</p> <p>【思考・判断・表現力等】 世界の人々の生活文化について、場所の特徴や歴史的背景や産業などの社会的条件との関わりなどに着目して、主題を設定し、多様性や変容の要因などを多面的・多角的に考察し、表現する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 生活文化の多様性と国際理解について、歴史的背景や産業などを基によりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。</p>	<p>・指導事項 多文化教育 ・教材 教科書、地図帳 ・一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知識・技能】 世界の人々の特色ある生活文化を基に、人々の生活文化が歴史的背景や産業から影響を受けたりして多様性をもつことや、地理的環境の変化によって変容することなどについて理解する。</p> <p>【思考・判断・表現】 世界の人々の生活文化について、場所の特徴や歴史的背景や産業などの社会的条件との関わりなどに着目して、主題を設定し、多様性や変容の要因などを多面的・多角的に考察し、表現する。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 生活文化の多様性と国際理解について、歴史的背景や産業などを基によりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。</p>	○	○	○	11
	定期考査			○	○		1
2 学 期	<p>Ⓕ 単元 地球的課題と国際協力</p> <p>【知識・技能】 世界各地で見られる地球環境問題、資源・エネルギー問題、人口・食料問題及び居住・都市問題などを基に、地球的課題の各地で共通する傾向性や課題相互の関連性などについて大観し理解し、地球的課題の解決には持続可能な社会の実現を目指した各国の取り組みや国際協力が重要であることなどについて理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 世界各地で見られる地球的課題について、地域の結び付きや持続可能な社会づくりなどに着目して、主題を設定し、現状や要因、解決の方向性などを多面的・多角的に考察し、表現する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 地球的課題と国際協力について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。</p>	<p>・指導事項 多文化教育 ・教材 教科書、地図帳 ・一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知識・技能】 世界各地で見られる地球環境問題、資源・エネルギー問題、人口・食料問題及び居住・都市問題などを基に、地球的課題の各地で共通する傾向性や課題相互の関連性などについて大観し理解し、地球的課題の解決には持続可能な社会の実現を目指した各国の取り組みや国際協力が重要であることなどについて理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現】 世界各地で見られる地球的課題について、地域の結び付きや持続可能な社会づくりなどに着目して、主題を設定し、現状や要因、解決の方向性などを多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 地球的課題と国際協力について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。</p>	○	○	○	15
	定期考査			○	○		1
3 学 期	<p>Ⓖ 単元 自然環境と防災</p> <p>【知識及び技能】 我が国や世界の自然災害を基に、自然災害の規模や頻度、地域性を踏まえた備えや対応の重要性などについて理解する。ハザードマップや新旧地形図をはじめとする各種の地理情報について読み取り、まとめる地理的技能を身に付ける。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 地域性を踏まえた防災について、自然及び社会的条件との関わり、地域の共通点や差異、持続可能な地域づくりなどに着目して、主題を設定し、自然災害への備えや対応などを多面的・多角的に考察し、表現する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 自然環境と防災について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。</p>	<p>・指導事項 防災教育 ・教材 教科書、地図帳 ・一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知識・技能】 我が国や世界の自然災害を基に、自然災害の規模や頻度、地域性を踏まえた備えや対応の重要性などについて理解する。ハザードマップや新旧地形図をはじめとする各種の地理情報について読み取り、まとめる地理的技能を身に付けている。</p> <p>【思考力、判断力、表現】 地域性を踏まえた防災について、自然及び社会的条件との関わり、地域の共通点や差異、持続可能な地域づくりなどに着目して、主題を設定し、自然災害への備えや対応などを多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 自然環境と防災について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。</p>	○	○	○	11
	<p>Ⓖ 単元 生活圏の調査と地域の展望</p> <p>【知識及び技能】 生活圏の調査を基に、地理的な課題の解決に向けた取り組みや探究する手法などについて理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 生活圏の地理的な課題について、生活圏内や生活圏外との結び付き、地域の成り立ちや変容、持続可能な地域づくりなどに着目して、主題を設定し、課題解決に求められる取り組みなどを多面的・多角的に考察、構想し、表現する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 生活圏の調査と地域の展望について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。</p>	<p>・指導事項 防災教育 ・教材 教科書、地図帳 ・一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知識・技能】 生活圏の調査を基に、地理的な課題の解決に向けた取り組みや探究する手法などについて理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現】 生活圏の地理的な課題について、生活圏内や生活圏外との結び付き、地域の成り立ちや変容、持続可能な地域づくりなどに着目して、主題を設定し、課題解決に求められる取り組みなどを多面的・多角的に考察、構想し、表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 生活圏の調査と地域の展望について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。</p>	○	○	○	4
定期考査			○	○		1	
合計							70

年間授業計画様式例

東京都立翔陽高等学校令和5年度 教科「地理歴史」科目「日本史B」 年間授業計画

教科:(地理歴史)科目:(日本史B) 対象:(第3学年)

使用教科書:詳説 日本史B(山川出版)

使用教材:『新詳日本史』(浜島書店)『要点整理 ゼミナール日本史』(浜島書店)

	指導内容	具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
4 月	日本文化のあけぼの	<p>文化の始まり 旧石器時代以来の日本文化の形成を整理して理解する。</p> <p>農耕社会の成立 農耕社会が形成する背景を理解し、知識を整理する</p> <p>古墳とヤマト政権 古墳の分布から大和政権の展開を理解し、対外関係を含めた理解を整理する</p>	<p>定期テストとともに、小テスト・ノートなどの課題提出点も加味する。</p>	8

	指導内容	具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
5 月	律令国家の形成	<p>飛鳥の朝廷 仏教文化の広がり と定着を背景にした飛鳥の政治や外交を理解し整理する。</p> <p>律令国家への道 律令政治が定着するなか、中国との関係を踏まえた国家体制を理解する。</p> <p>平城京の時代 平城京遷都後の政治の変遷について整理し理解する。</p> <p>天平文化 遣唐使を介して国内に流入した唐文化がどのように国内定着していったのかを理解する</p> <p>平安王朝の形成 平安京遷都後の政治の変遷を整理して理解する。</p>	<p>定期テストとともに、小テスト・ノートなどの課題提出点も加味する。</p>	12

	指導内容	具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
6 月	貴族政治と国風文化	<p>摂関政治 藤原氏と天皇家との関係性を中心に政治の変遷を理解する。</p> <p>国風文化 唐の文化を土台に成熟する文化について、推移とその変化について比較しながら理解する。</p> <p>地方政治の展開と武士 土地制度の変遷を背景に土着した武士層や、朝廷から派遣される官職としての武士によって地方に政治の転換が普及していくことを整理して理解する</p>	<p>定期テストとともに、小テスト・ノートなどの課題提出点も加味する。</p>	16

	指導内容	具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
7 月	貴族政治と国風文化	<p>摂関政治 藤原氏と天皇家との関係性を中心に政治の変遷を理解する。</p> <p>国風文化 唐の文化を土台に成熟する文化について、推移とその変化について比較しながら理解する。</p> <p>地方政治の展開と武士 土地制度の変遷を背景に土着した武士層や、朝廷から派遣される官職としての武士によって地方に政治の転換が普及していくことを整理して理解する</p>	<p>定期テストとともに、小テスト・ノートなどの課題提出点も加味する。</p>	8

	指導内容	具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
8 月	中世社会の成立	<p>地方政治の展開と武士、院政と平氏の台頭 外戚関係の断絶により、後三条天皇から院政という摂関に変わる新しい権力の出現とそれを取り巻く勢力についてまとめる。</p> <p>院政と平氏の台頭 平氏政権の成立から滅亡過程、およびこの政権が古代的性格と武家的性格の両面を持つことを理解させる。</p> <p>鎌倉幕府の成立 成立過程と幕府権力基盤を、守護地頭の設置や財政基盤等の説明を通して理解させる。</p>	<p>定期テストとともに、小テスト・ノートなどの課題提出点も加味する。</p>	2

	指導内容	具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
9 月	武家社会の成長	<p>武士の社会 全国政権への契機となった承久の乱、および執権を中心とする合議体制の確立、また御成敗式目の意義について明確にする。</p>	<p>定期テストとともに、小テスト・ノートなどの課題提出点も加味する。</p>	18
		<p>武士の社会、蒙古襲来と幕府の衰退 元寇を東アジア情勢全体のなかでとらえさせる。また、北条氏の独裁と御家人の離反という主従関係の崩壊を理解させる。</p>		
		<p>蒙古襲来と幕府の衰退 元寇を東アジア情勢全体のなかでとらえさせる。また、北条氏の独裁と御家人の離反という主従関係の崩壊を理解させる。</p>		
		<p>鎌倉文化 新仏教に関して各宗派の特色や受容層、一方で旧仏教の復興運動も強調する。</p>		

	指導内容	具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
10 月	武家社会の成長	<p>室町幕府の成立 建武政権の成立と滅亡の過程で、短期政権であった原因を武士側の立場から強調する。</p> <p>室町幕府の成立 南朝との統一戦を抱えながら政権が成立、安定していく過程、また鎌倉時代の守護より強化された守護大名と幕府の関係を理解させる。</p> <p>幕府の衰退と庶民の台頭 惣村の成立と自治、および国人層を巻き込んでの土一揆への過程を明確にし、武家の相続法の変化、下剋上とあわせて権力の弱体化を説明する。</p> <p>幕府の衰退と庶民の台頭、室町文化 南北朝、北山、東山の各文化の特色を、茶の湯や生け花などの身近なところから日本の伝統文化であることを紹介する。</p> <p>室町文化 南北朝、北山、東山の各文化の特色を、茶の湯や生け花などの身近なところから日本の伝統文化であることを紹介する。</p>	<p>定期テストとともに、小テスト・ノートなどの課題提出点も加味する。</p>	18

	指導内容	具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
11 月	幕藩体制	<p>戦国大名の登場 応仁の乱や下剋上の風潮の元で、戦国大名が登場する過程および領国支配、また政策から都市の発展や文化の地方伝播について伝える。</p>	<p>定期テストとともに、小テスト・ノートなどの課題提出点も加味する。</p>	18
		<p>織豊政権 ヨーロッパ人のアジア進出の中で、鉄砲とキリスト教の伝来がどのように後世の日本に影響したか考えさせる。</p>		
		<p>織豊政権、桃山文化 信長と秀吉の全国統一事業を可能にした要因、また検地と刀狩による土地制度の変化と身分制社会の形成に着目させる。</p>		
		<p>桃山文化 新興の大名や都市の豪商の力を反映し、豪華絢爛で宗教的色彩を脱した点を強調する。</p>		
		<p>幕藩体制の成立 家康の覇権確立の過程と幕藩体制とよばれる政治支配を、織豊政権との比較を含めて説明する。</p>		

	指導内容	具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
12 月	幕藩体制の動揺	<p>幕藩体制の成立 外交や貿易面での積極的な施策が日本人の海外発展を促した一方、鎖国禁教政策の意義について理解させる。</p>	<p>定期テストとともに、小テスト・ノートなどの課題提出点も加味する。</p>	14
		<p>幕藩体制の成立 外交や貿易面での積極的な施策が日本人の海外発展を促した一方、鎖国禁教政策の意義について理解させる。</p>		
		<p>幕藩社会の構造 幕藩体制にとって基本的な産業である農業を中心に、それに従事する農民の生活や負担、村の構造を取り上げる。</p>		
		<p>幕藩社会の構造、幕政の安定 大坂の役後安定した世の到来で、政治指導者や政策が異なってくるさまを、政治理論的に補強する儒教の発達をあわせて説明する。</p>		
		<p>幕政の安定、経済の発展 各地における農業生産力増大のための技術開発、商業とのかかわりによる相互発展、漁法や海運・交通面での工夫や開発をまとめる。</p>		

	指導内容	具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
1 月	幕藩体制の動揺	<p>経済の発展、元禄文化 商品経済発達により、特権商人にかわり、台頭する都市商人を背景に展開された元禄文化の創造性や気品に着目させる。</p>	<p>定期テストとともに、小テスト・ノートなどの課題提出点も加味する。</p>	10
		<p>元禄文化、幕政改革 享保の改革と田沼時代の政策について、農村支配の再構築と商業資本利用という相違点と、両者の共通の目的を説明。</p>		
		<p>幕政改革、宝暦・天明期の文化 上方中心の元禄文化に対し、将軍の膝元である江戸で、「いき」「江戸っ子」という意識を背景にした江戸町人文化であることを、次の化政文化と関連づけて捉えさせる。</p>		
		<p>宝暦・天明期の文化 上方中心の元禄文化に対し、将軍の膝元である江戸で、「いき」「江戸っ子」という意識を背景にした江戸町人文化であることを、次の化政文化と関連づけて捉えさせる。</p>		

2月	指導内容	具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数

3月	指導内容	具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数

年間授業計画様式例

翔陽高等学校 令和5年度 教科「地理歴史」 科目「日本史B演習」 年間授業計画

教科： 地理歴史科 科目： 日本史B演習 単位数： 2単位

対象学年組： 第3学年)

使用教科書： (詳説 日本史B (山川出版))

使用教材： (『新詳日本史』(浜島書店)『要点整理 ゼミナール日本史』(浜島書店)『大学入学共通テスト 日本史トレーニング問題集』(山川出版)

指導内容	具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数	
4 月	第二次世界大戦と太平洋戦争	第二次世界大戦の経過や日中戦争、太平洋戦争の進展について理解する。	定期テストとともに、小テスト・ノートなどの課題提出点も加味する。	4

	指導内容	具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
5 月	占領と改革	敗戦後の占領期の国内政治、外交などを国際的な枠組みの中で整理し理解する。	定期テストとともに、小テスト・ノートなどの課題提出点も加味する。	4

	指導内容	具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
6 月	冷戦の開始と講和	国際的な米ソ対立（冷戦構造）を前提に、西側諸国の一員としてアメリカの同盟国として独立を果たす日本の国内政治と外交の推移について理解する。	定期テストとともに、小テスト・ノートなどの課題提出点も加味する。	8

	指導内容	具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
7 月	5 5 年体制	冷戦構造を背景に日本の独立に向けた動きが国内外で進み、講和条約と日米間での条約締結を踏まえて日本の独立が果たされたことを理解する。	定期テストとともに、小テスト・ノートなどの課題提出点も加味する。	8

8月	指導内容	具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数

	指導内容	具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
9 月	<p>戦後復興から高度成長へ</p>	<p>戦後復興の経済的な要因について理解したうえで、1970年代までの経済的な成長について考察し理解する。</p>	<p>定期テストとともに、小テスト・ノートなどの課題提出点も加味する。</p>	4

	指導内容	具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
10 月	経済復興から高度成長へ	戦後復興の経済的な要因について理解したうえで、1970年代までの経済的な成長について考察し理解する。	定期テストとともに、小テスト・ノートなどの課題提出点も加味する。	6

	指導内容	具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
11 月	激動する世界と日本	1970年代以降、経済大国として国際社会の中で確立されていく日本の立場の変化や、外交、国内政治の変化を、整理し理解する。	定期テストとともに、小テスト・ノートなどの課題提出点も加味する。	8

	指導内容	具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
12 月	入試問題演習	共通テスト過去問演習・解説	定期テストとともに、小テスト・ノートなどの課題提出点も加味する。	8

1月	指導内容	具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数

2月	指導内容	具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数

	指導内容	具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
3 月				

年間授業計画様式例

東京都立翔陽高等学校令和5年度 教科「地理歴史」科目「世界史B」 年間授業計画

教科： 地歴公民 科目： 世界史B 単位数： 4単位

対象学年組： 第3学年選択者)

使用教科書： (改訂版 詳説世界史B 山川出版)

使用教材： (タペストリー 帝国書院 / 詳説世界史10分間テスト 山川出版 / 詳説世界史整理ノート 山川出版)

指導内容	具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数	
4 月	内陸アジア世界・東アジア世界の展開	<p>○内陸アジア世界におけるトルコ人の活動とイスラーム化の進展を理解する。 ○東アジア諸地域の勢力交替、宋の興亡と社会や文化の特色を理解する。○モンゴル帝国の興亡と、その活動が日本を含む諸地域世界に与えた影響の大きさを理解する。</p>	<p>定期テストとともに、小テスト・ノートなどの課題提出点も加味する。</p>	10

	指導内容	具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
5 月	東アジア世界の動向	○明朝、清朝の動向とともに、東アジア世界の状況を理解する。○トルコ・イラン世界に誕生したイスラーム世界の動向と特質を理解する。○ムガル帝国の動向、東南アジア交易の発展を理解する。	定期テストとともに、小テスト・ノートなどの課題提出点も加味する。	10

	指導内容	具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
6 月	近世ヨーロッパ世界の形成	○ヨーロッパ世界の拡大とアメリカ大陸の制服、それにもなうヨーロッパ社会の変革の動きを理解する。○ルネサンスの意義を理解する。○宗教改革、カトリック教会の対応を理解する。○主権国家体制について理解する。	定期テストとともに、小テスト・ノートなどの課題提出点も加味する。	10

指導内容	具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
<p>近世ヨーロッパ世界の展開</p> <p>近代ヨーロッパ・アメリカ世界の成立</p>	<p>○ヨーロッパ主権国家諸国の動向を理解する。○ヨーロッパ諸国の植民地争奪と大西洋三角貿易を理解する。○17・18世紀のヨーロッパ文化を理解する。</p> <p>○イギリス産業革命と産業資本主義体制の確立について理解する。○アメリカ独立革命とその影響について理解する。○フランス革命とナポレオンについて理解する。</p>	<p>定期テストとともに、小テスト・ノートなどの課題提出点も加味する。</p>	14

7
月

	指導内容	具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
8 月	欧米における近代国民国家の発展	○ウィーン体制と自由主義・ナショナリズム運動について理解する。○クリミア戦争、イタリア・ドイツの統一、ロシア・オーストリアの皇帝主導の近代化について理解する。○ラテンアメリカの独立、アメリカ合衆国の拡大、南北戦争について理解する。○19世紀の欧米文化について理解する。	定期テストとともに、小テスト・ノートなどの課題提出点も加味する。	10

	指導内容	具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
9 月	アジア諸地域の動揺	○オスマン帝国支配の動揺と改革，アラブ諸民族の覚醒，イラン・アフガニスタンの動向を理解する。○インドの植民地化，東南アジア諸国の植民地化の過程を理解する。○清朝の動揺と近代化改革，日本の開国と台頭による東アジア国際秩序の再編を理解する。	定期テストとともに、小テスト・ノートなどの課題提出点も加味する。	8

	指導内容	具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
10 月	帝国主義とアジアの民族運動	○帝国主義の特質と欧米列強諸国の国家・社会の変化を理解する。○世界各地の分割や植民地化をめぐる競合と、従属させられた地域社会の抵抗と変容を理解する。○欧米諸国の支配を受けたアジア諸国の改革と民族運動の形成を理解する。	定期テストとともに、小テスト・ノートなどの課題提出点も加味する。	16
	二つの世界大戦	○第一次世界大戦とロシア革命が国際秩序に大きな変化をもたらし、20世紀の変動の基点となったことを理解する。		

	指導内容	具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
11 月	二つの世界大戦	○国際協調を基調としたヴェルサイユ体制下の欧米諸国の動向を理解する。○中国や東南アジア諸国，インド，トルコや西アジア諸国，アフリカの民族運動の展開を理解する。○世界恐慌以降の欧米諸国の動向や東アジアの状況から，国際的な緊張が高まる時代を理解する。○第二次世界大戦に至る過程と戦争規模の拡大，米ソの国際的地位の高まりを理解する。	定期テストとともに、小テスト・ノートなどの課題提出点も加味する。	14

	指導内容	具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
12 月	冷戦と第三世界の独立	<p>○第二次世界大戦後，米・ソを中心とした冷戦体制が成立し，東西両陣営に世界が分裂したことを理解する。○中華人民共和国の成立やアジア諸地域の独立の過程を理解する。○朝鮮戦争などによる米ソ冷戦の激化から，日本・西欧の経済復興や「雪どけ」の始まりによって，国際政治や経済が多極化に向かったことを理解する。○戦後の20年間に段階的に独立を達成したアジア・アフリカ諸国が第三勢力として躍進し，発言力を強めたことを理解する。○米・ソの両大国の動揺と国際的な影響力の減退を理解する。○ドル＝ショック，オイル＝ショック以降の国際経済の再編，冷戦の終結への流れを理解する。</p>	<p>定期テストとともに、小テスト・ノートなどの課題提出点も加味する。</p>	15

	指導内容	具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
1 月	現代の世界	<p>○東欧社会主義圏の消滅とソ連邦の解体，1990年代の情報技術革命とグローバル経済の進展を理解する。○途上国の民主化の進展と，アジア社会主義国家の変容を理解する。</p> <p>○世界で多発する地域紛争と同時多発テロ後の戦争，紛争解決や軍縮の試みを理解する。○科学技術の発達と現代文明の抱える危機，現代思想や文化の特徴について理解する。○帝国主義の時代からグローバル化した「地球世界」が成立した現代までの歴史を再確認し，その課題から21世紀の世界を展望する。○地球世界の課題に関する主題を設定し，選択したその時代の資料を活用して探求し，表現する技能を学ぶ。</p>	<p>定期テストとともに、小テスト・ノートなどの課題提出点も加味する。</p>	8

	指導内容	具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
2 月	復習			

	指導内容	具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
3 月	復習			

年間授業計画様式例

東京都立翔陽高等学校令和5年度 教科「地理歴史」科目「世界史B演習」 年間授業計画

教科： 地理歴史科 科目： 世界史B演習 単位数： 2単位

対象学年組： 第3学年選択者)

使用教科書： (『詳説 世界史B』山川出版)

使用教材： (『大学入学共通テスト 世界史B単元別問題集』駿台文庫 『詳説世界史 改訂版 10分間テスト』山川出版)

指導内容	具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数	
4 月	<p>序章 先史の世界</p> <p>第I部 第1章 オリентと地中海世界 1. 古代オリент世界</p> <p>2. ギリシア世界</p> <p>3. ローマ世界</p> <p>第2章 アジア・アメリカの古代文明 1. インドの古典文明</p>	<p>人類が自然環境に適応しながら進化し、農耕・牧畜を基礎とする諸文明を築き上げたことに気付くと同時に、人類と言語の分化を理解する。</p> <p>・西アジア世界の地理的特質を把握し、オリент文明の盛衰、イラン人の活動を理解する。</p> <p>・地中海一帯の地理的特質を把握し、エーゲ文明、ギリシア・ヘレニズム文明の特徴を理解する。</p> <p>・都市国家から大帝國に発展したローマ文明の特質を理解する。</p> <p>・南アジアの地理的特質を把握し、インド文明の成立と発展、独自の宗教・社会制度など、南アジア世界の形成過程を理解する。</p>	<p>知・技・思 ワークシート</p> <p>知・技・思 ワークシート</p> <p>知・技・思 ワークシート</p> <p>知・技・思 ワークシート</p> <p>知・技・思 ワークシート</p>	6

指導内容	具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
<p>2. 東南アジアの諸文明</p> <p>3. 中国の古典文明</p> <p>5月 第3章 内陸アジア世界・東アジア世界の形成 1. 草原の遊牧民とオアシスの定住民</p> <p>2. 北方民族の活動と中国の分裂</p> <p>第II部 第4章 イスラーム世界の形成と発展 1. イスラーム世界の形成</p>	<p>・東南アジアの地理的特質を把握し、東南アジア世界における国家形成の過程を理解する。</p> <p>・東アジアの地理的特質を把握し、中国文明の起源、殷・周の成立から秦・漢帝国の動向までを理解する。</p> <p>・内陸アジアの地理的特質を把握し、台頭した遊牧民とその国家の動向を、オアシス民の活動とともに理解する。</p> <p>・東アジアにおける北方遊牧民族の動向と、三国時代から魏晋南北朝という中国の分裂と動乱の時代を理解する。</p> <p>・イスラーム世界成立の背景とその特質、アラブ人による発展とイスラーム帝国の形成を理解する。</p>	<p>知・技・思 ワークシート</p> <p>知・技・思 ワークシート</p> <p>知・技・思 ワークシート</p> <p>知・技・思 ワークシート</p> <p>知・技・思 ワークシート</p>	6

	指導内容	具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
6 月	2. イスラーム世界の発展	・トルコ系民族が内陸アジアから進出し、ムスリムの連携を維持しながらイスラーム世界を拡大させていった過程を理解する。	知・技・思 ワークシート	6
	3. インド・東南アジア・アフリカのイスラーム化	・インド・東南アジア・アフリカのイスラーム化など、イスラーム世界の拡大の過程を理解する。	知・技・思 ワークシート	
	4. イスラーム文明の発展	・イスラーム文明の特質とその影響、学問と文化活動の内容、イスラーム都市を中心としたネットワークの役割を理解する。	知・技・思 ワークシート	
	第5章 ヨーロッパ世界の形成と発展 1. 西ヨーロッパ世界の成立	・地中海世界解体後、ヨーロッパ世界が東西に分かれ、ゲルマン人移動後の西ヨーロッパでは、外部勢力との対抗の中で封建社会が形成されていったことを理解する。	知・技・思 ワークシート	
	2. 東ヨーロッパ世界の成立	・ビザンツ帝国の繁栄とその社会や文化、スラヴ人と周辺諸民族の自立の過程を理解する。	知・技・思 ワークシート	

指導内容	具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
<p>7 月</p> <p>3. 西ヨーロッパ中世世界の変容</p> <p>第6章 内陸アジア世界・東アジア世界の展開</p> <p>1. トルコ化とイスラーム化の進展</p> <p>2. 東アジア諸地域の自立化</p> <p>3. モンゴルの大帝国</p> <p>第Ⅲ部</p> <p>第7章 アジア諸地域の繁栄</p> <p>1. 東アジア世界の動向</p>	<p>・十字軍以降の西ヨーロッパ中世世界の変容と諸国の動向を理解する。</p> <p>・内陸アジア世界におけるトルコ人の活動とイスラーム化の進展を理解する。</p> <p>・契丹や女真といった遊牧諸勢力の台頭や日本を含めた東アジア諸地域の勢力交替, 宋の興亡と社会や文化の特色を理解する。</p> <p>・モンゴル帝国の興亡と, その活動が日本を含む諸地域世界に与えた影響の大きさを理解する。</p> <p>・中華帝国を再現した明朝の動向とともに, 朝鮮や日本など東アジア世界の状況を理解する。</p>	<p>知・技・思 ワークシート</p> <p>知・技・思 ワークシート</p> <p>知・技・思 ワークシート</p> <p>知・技・思 ワークシート</p> <p>知・技・思 ワークシート</p>	<p>4</p>

	指導内容	具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
8 月	2. 清代の中国と隣接諸地域	・清朝の形成した広大な領域支配とその社会や文化とともに、東アジア世界の動向を理解する。	知・技・思 ワークシート	2
	3. トルコ・イラン世界の展開	・トルコ・イラン世界に誕生したイスラーム帝国の動向とその社会や文化の特質を理解する。	知・技・思 ワークシート	
	4. ムガル帝国の興隆と東南アジア交易の発展	・南アジアに誕生したムガル帝国の動向とインド社会や文化の変化、東南アジア交易の発展を理解する。	知・技・思 ワークシート	

	指導内容	具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
9 月	2. ルネサンス	・ルネサンスのもたらした芸術・思想・科学の変革の内容と意義を理解する。	知・技・思 ワークシート	6
	3. 宗教改革	・ドイツから始まった宗教改革の理念とその拡大, カトリック教会の対応を理解する。	知・技・思 ワークシート	
	4. ヨーロッパ諸国の抗争と主権国家体制の形成	・近代国家の原型となった主権国家体制の特色と, 体制の形成に向かうヨーロッパ諸国の内乱や戦争の動向を理解する。	知・技・思 ワークシート	
	第9章 近世ヨーロッパ世界の展開 1. 重商主義と啓蒙専制主義	・17～18世紀におけるヨーロッパ主権国家諸国の動向を, 重商主義と啓蒙専制主義を柱として理解する。	知・技・思 ワークシート	
	2. ヨーロッパ諸国の海外進出	・ヨーロッパ諸国の植民地争奪と大西洋世界の三角貿易のもたらした国際的枠組みを理解する。	知・技・思 ワークシート	

	指導内容	具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
10 月	第10章 近代ヨーロッパ・アメリカ世界の成立			6
	1. 産業革命	・イギリス産業革命の背景と展開，産業資本主義体制の確立とその影響について理解する。	知・技・思 ワークシート	
	2. アメリカ独立革命	・アメリカ独立革命の経過と，独立が近代民主政治に与えた影響を理解する。	知・技・思 ワークシート	
	3. フランス革命とナポレオ	・アメリカ独立革命とフランス革命が近代民主政治に与えた影響を理解する	知・技・思 ワークシート	
	第11章 欧米における近代国民国家の発展			
1. ウィーン体制の成立	・ウィーン体制の成立と，その体制下に広がったヨーロッパ諸国の自由主義とナショナリズムの運動を理解する。	知・技・思 ワークシート		
2. ヨーロッパの再編と新統一国家の誕生	・クリミア戦争以後の国際秩序の動揺と再編，イタリア・ドイツにおける国民国家の形成過程，ロシア・オーストリアの皇帝主導の近代化を理解する。	知・技・思 ワークシート		

	指導内容	具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
11 月	<p>第12章 アジア諸地域の動揺</p> <p>1. オスマン帝国支配の動揺と西アジア地域の変容</p> <p>2. 南アジア・東南アジアの植民地化</p> <p>3. 東アジアの激動</p> <p>第IV部</p> <p>第13章 帝国主義とアジアの民族運動</p> <p>1. 帝国主義と列強の展開</p> <p>2. 世界分割と列強対立</p>	<p>・西アジアにおけるオスマン帝国支配の動揺と改革, アラブ諸民族の覚醒, イラン・アフガニスタンの動向を理解する。</p> <p>・インドの植民地化とその社会の変貌, 東南アジア諸国の植民地化の過程を理解する。</p> <p>・ヨーロッパ諸国の干渉による清朝の動揺と近代化改革, 日本の開国と台頭による東アジア国際秩序の再編を理解する。</p> <p>・帝国主義の特質と, 帝国主義時代における欧米列強諸国の国家・社会の変化を理解する。</p> <p>・帝国主義時代の欧米列強による世界各地の分割や植民地化をめぐる競合と, 従属させられた地域社会の抵抗と変容を理解する。</p>	<p>知・技・思 ワークシート</p> <p>知・技・思 ワークシート</p> <p>知・技・思 ワークシート</p> <p>知・技・思 ワークシート</p> <p>知・技・思 ワークシート</p>	6

	指導内容	具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
12 月	<p>3. アジア諸国の改革と民族運動</p> <p>第14章 二つの世界大戦</p> <p>1. 第一次世界大戦とロシア革命</p> <p>2. ヴェルサイユ体制下の欧米諸国</p> <p>3. アジア・アフリカ地域の民族運動</p> <p>4. 世界恐慌とファシズム諸国の侵略</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・欧米諸国の支配を受けたアジア諸国の改革と民族運動の形成を理解する。 ・第一次世界大戦とロシア革命が国際秩序に大きな変化をもたらし、20世紀の変動の基点となったことを理解する。 ・国際協調を基調としたヴェルサイユ体制下の欧米諸国の動向を理解する。 ・中国や東南アジア諸国，インド，トルコや西アジア諸国，アフリカの民族運動の展開を理解する。 ・世界恐慌以降の欧米諸国の動向や東アジアの状況から，国際的な緊張が高まる時代を理解する。 	<p>知・技・思 ワークシート</p> <p>知・技・思 ワークシート</p> <p>知・技・思 ワークシート</p> <p>知・技・思 ワークシート</p> <p>知・技・思 ワークシート</p>	4

指導内容	具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
<p>5. 第二次世界大戦</p> <p>第15章 冷戦と第三世界の独立</p> <p>1. 戦後世界秩序の形成とアジア諸地域の独立</p> <p>1月 2. 米ソ冷戦の激化と西欧・日本の経済復興</p> <p>4. 石油危機と世界経済の再編</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・第二次世界大戦に至る過程と戦争規模の拡大, 米ソの国際的地位の高まりを理解する。 ・第二次世界大戦後, 米・ソを中心とした冷戦体制が成立し, 東西両陣営に世界が分裂したことを理解する。 ・中華人民共和国の成立やアジア諸地域の独立の過程を理解する。 ・朝鮮戦争などによる米ソ冷戦の激化から, 日本・西欧の経済復興や「雪どけ」の始まりによって, 国際政治や経済が多極化に向かったことを理解する。 ・ドル＝ショック, オイル＝ショック以降の国際経済の再編, 冷戦の終結への流れを理解する。 	<p>知・技・思 ワークシート</p> <p>知・技・思 ワークシート</p> <p>知・技・思 ワークシート</p> <p>知・技・思 ワークシート</p>	4

2月	指導内容	具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数

	指導内容	具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
3 月				